

4
月
号

いっしん

令和2年(2020年)

第423号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

いかにせば
己が姿の
直くなる
神の心に
そいまつるまで
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



3月20日(祝)

春季霊祭

仕えられる

里山にヤマザクラが咲き出し、もうすぐソメイヨシノが咲く頃となった春分の日、加治木教会では春季霊祭が仕えられました。

ご祭典では、ご神前で奏上祭が仕えられ、霊前に転座して霊祭が仕えられました。

霊祭では、加治木教会において道開きの上に、ご祈念下された甘木親教会の歴代の親先生・親奥様方をはじめ、今日まで加治木教会の布教の上には生涯をおさげになられたご霊神様方、さらに教徒・信徒・縁あるご霊神様方の、ご霊神名をすべて読み上げ、ご霊神様方に対し御礼・お慰め・お偲び申し上げる内容の祭詞が奏上されました。

霊祭詞奏上後、参拝者全員が、先ず金光教でお祀りされてある教徒の方が順次玉串を奉奠され、続いて信徒の方々が玉串を奉奠されました。

ご祭典に引き続いて、霊様についての教話があり、教話後霊様のお下がり恒例の茶話会がありました。

春季霊祭…P1 月例祭教話…P2 青木トミ子氏「難はみかげ」…P3~4
春育見について…P5 沖繩からの便り…P6 教会行事…P8

《月例祭教話》

「慣れねばならぬが

狎れてはならぬ」

この言葉は、時々甘木親教会の月例祭で、二代教会長 故安武文雄親先生がお話しになってあったことです。

来年は加治木教会布教七十年で、私が加治木教会に御用に來させていただいて三十となり、政美親先生とお別れして二十二年、御用に「慣れ」が生じているかもしれません。

慣

慣れる」とあり。

「慣れる」という意味は「習熟する」「コツをつかむ」で、使い方は「仕事に

馴

馴れる」とあり。

「馴れる」の意味は「動物が人になつく」「違和感、抵抗感がなくなる」で、使

狎

「寵愛に狎れる」とあります。

「狎れる」の意味は「親しみすぎて礼を欠く」「けじめのない態度」で、使い方は

この言葉からよく思い出されることで、やはり安武文雄親先生がよく



み教え下さってあったことで、初代がご教示された内容です。

それは、文雄親先生が、教師になりたての頃に、夜御祈念が終わり初代が御神殿内から神饌室に三宝を下げられるのを手伝おうとされ、神饌室の回り手を出されたところ、初代は「ウム！」と言われ明らかに拒まれる態度を示されました。翌朝のご挨拶の時間に「昨夜はお礼をしてきたか？」とのお言葉で、〈夜の御祈念は大きな声で拝詞を唱え、お礼の御祈念には出ていたのに〉と理解できない思いでおられると、さらに「人の部屋に入るときには挨拶をして入るであろう」とのお言葉であった。

文雄親先生は「それからのこと、初代の御神前での態度を見ていると、内殿に上る時には膝をついてお礼をして上がり、三宝に触れる時にもお礼をして触り、何度も何度も深々とお礼をし、さも目の前に神様があら

れるような態度であった」とお話になってありました。

そのようにして、ようやく初代の「お礼をして」という意味合いがわかってこられ「これも初代から受け取らせてもらった信心の奥義の一つであろうと思います」とをお話しされてあります。

初代には、そのような信心姿勢やご態度が行住坐臥すべての面に、お亡くなりになられるまで、入信の頃の感動とともに「ありがたい、もったいない、おそれおい」という思いが深まることはあっても色あせることがなかったのであります。

しかし、今の時代、私どもは教会のご神前で御用をさせていただくときや、常日頃の信心生活の中で、そのような姿勢・態度であるか、「慣れ」が「狎れ」にさえなっていないかが問題です。

あまりにも粗末な姿勢・態度になりがちではないかと、最も反省させられるところであり、改めて行くべきところであります。

(教会長)

「難はみかげ」

一 起きてくる事柄を通して
名城教会 青木トミ子

長男が多発性骨髄腫に…

宮川花子さんと同じ難病
命を助かり、家族信心に
青木トミ子氏の、名城教会での感話発表の原稿
を何回かに分けて掲載させていただきます。

【青木家の信心の始まり】

青木トミ子さんの旧姓は向江で加治木教会の
故政美親先生「布教(昭和二十六年)の当初に両親
がご神縁を蒙り、農作業等おかけを蒙り家族で信
心を進め、実姉は医者も見放す病氣から回復のお
かけを蒙りお道の教師に。のちに仕事を求め、家
族で愛知県に移り、現在は愛知県愛西市で夫の宗
一さんと二人暮らし。

【ごまでのお話の要旨】

トミ子さんご夫妻は、実姉 故向江ナツ工先生
が御用しておられた、佐屋教会(加治木教会から
愛知県で布教)が閉鎖された後、お世話下さって
いた河合利男先生が御用される名城教会に参拝。
教会参拝、御本部参拝、信心集会(年三回)と信
心に励む中に、ご本部参拝中に転んで骨折入院
両目の眼病手術、次男の所で超未熟児の早産。次
は、長男に大難が訪れる…。

◆ご神縁を頂いているもの◆

話しは変わりますが、京都に住ん
でいる長男は、二才の頃から御本部



青木トミ子氏

青木宗一氏

参拝につれて
参ったり、草
津教会に参拝
の頃は、おん
ぶしながら御
用をさせてい
ただいており
ました。

息子は、中
学卒業までは
御本部参拝も
教会参拝も出
来ていたのですが、中学を卒業後津
島の料理店に板前修行に入ってから
は参拝が出来なくなりました。

修行後何件も料理店を変わりなが
ら料理の勉強を続け、三十年前から
京都に住んで今年五十五才、料理人
になって四十年になります。

二年前から「グラメゾン」京都迎
賓館で料理長として御用させていた
だいておりました。

昨年十一月二十三日布教七十年記
念大祭に京都から親子四人参拝させ
ていただき、上の孫が玉串をあげさ
せていただき、とても喜んでおりま
した。

◆身体に変調が◆

長男は、十二月に入って腰を痛め
て整形外科に通っているときに、胸
に「四センチ位のおでき」が出来て
いたそうです。

しかし、息子は責任感が強く、仕
事をなかなか休む事が出来ず、暇を
見つけては病院に通って検査を受け
ていましたが、原因が分からず、大
きな病院で精密検査を受けることにな
りました。

検査を受けたところ「肩から左足
首まで」五ヶ所に同じ症状が見つかり、
胸のおできはこぶし大位の大き
さになっていましたが、原因も分か
らず、手術も出来ず、治療方法も分
からぬまま年が明け、新年を迎えま
した。

痛み止めの薬を飲み、足を引きず
って仕事に行っていました。

発病以来、教会へ電話でお取次を
頂き、み教えを聞き、元気になりな
ったそうですが、教会長先生には、
「親が心配するので内緒にしてい
て下さい」と御願ひしていたそうです。

一月の初めに息子から電話があり、
原因が分かってから知らせるつもり

だったそうです。

私は息子に、この度の事は、青木家の「おかげの中での出来事」で、神様は何一つ無駄事はなされないの、何かつもりがあつてのことだから、「神様を信じなさい」と伝えていました。

一月三十日には小便も出来ず、歩くことができなくなりました。

◆「多発性骨髄腫」治療に◆

新たに検査に行く予定だった京都大学病院に緊急入院し、検査をして貰ったところ「骨髄腫と血液の癌です」と、原因が分かり、早速レーザー治療が始まったそうです。

入院して四日目、主治医の先生から、本人と家族の者に「治療中呼吸が止まるかも知れませんが」と言われたそうです。

私達夫婦は、十二月四日、大府に住む息子と早速見舞いに行きました。その日から本格治療に入ることを先生から聞きました。

息子は、「御神米」と「神水」を毎日頂いていたそうです。

私達が行った日に、胸の方のおで

きは少し小さくなっていました。

話が前後しますが、息子の病気を知った日から、朝夕の御祈念で「息子が神様を信じ、教会長先生の祈りを信じて」「右になっても、左になっても、すべて神様にお任せ致します」とお願いしていました。

いつも息子は、メールや電話でお取次を頂く度に元気な心になりながらも、主治医の先生から、本人と家族に話がある度にショックを受け、悩んだり食事も出来なくなったりと入院以来三ヶ月の間に何回もありました。

◆親子で信心の稽古を◆

三月の初めまでは個室に入院しておりましたから、毎日み教えを伝え続けました。「神様を信じ、み教えを頂き、教会長先生の祈りを信じてなさい、その先には安心のおかげがあるから」と、本人・家族に伝えておられます。

教祖様は「神は、平等におかげを授けるが、受け物が悪ければおかげが漏れる」とみ教えくださっています。

私達や息子達も小さな受け物しか持っていないのに、大きな事をお願いしても洩れてしまいます。

今息子は立つ事も、歩くことも出来ませんので、主人と二人朝夕の御祈念で、「手さん・足さん・目さん・耳さん・口さんありがとうございませう。今日もすべてにお世話になります。」と、お礼をさせて頂く稽古をさせて頂いています。

受け物作りは「教会参拝」と「み教え」を聴く事だと教えて頂きました。今、主人と教会へ参拝させて頂いて「受け物作り」の稽古をさせて頂いておられます。

三月十八日、大府の息子と病院へ見舞いに行った折に、たくさんのみ教えを伝えて元気になってくれました。

その日に、五ヶ所の癌が全部神様が洗い流して下さって、一ツも残っていないことを聞いてとても嬉しく思わせていただきました。

大学病院での治療は四月八日で終わり、引き続き四月九日からは京都市立市民病院に転院しました。

(つづく)

〔沖縄からの便り〕

摩文仁の丘

ゴミ清掃ボランティア

に参加

有菌彰子

二月一日の日曜日に、糸満市にある摩文仁の丘でのゴミ清掃ボランティアに私と子供達で参加させてもらいました。

もともと激戦地であった糸満市摩文仁の平和祈念公園内に不法投棄されているゴミの回収作業が行われました。

ボランティアおよそ五百名が参加し、ビニール袋で二三五〇袋、五・五トンのゴミが回収されました。

このゴミの回収作業は、那覇教会の林雅信先生が、沖縄県に対し長年「摩文仁は沖縄戦終焉の地で、この大量の不法投棄ゴミの下に、戦没者の遺骨があるのでゴミを回収しなければならぬ」と訴え続け、やっと沖縄県が動き出し、沖縄県主催として三回目のゴミの回収作業が実施されました。



那覇教会からの参加者一同で

↑ 那覇教会長 林 雅信 先生

↑ 有菌彰子 華・彰真

崖下からロープでつり上げられたゴミのバケツリレーを、彰真も一員となって一生懸命運ぶ作業をさせていただくことができ、また、華も参加者の中では最年少で私と一緒に作業させていただくことができました。成長を感じると共に、御用に使用していただきありがたい気持ちでいっぱいになったゴミ清掃ボランティアでした。

・・・・・・・・・・・・・・・・

「ピーチクリーン」

ありぞのはな

3がつ15にち、ぎのわんしのトロピカルピーチでおかあさんとおにいちゃんといっしょに、ごみひろいにさんかしました。

ごみひろいは、なはきょうかいのみんなともだちがきていました。

ピーチはさむくてぶぐみたいなほねがありました。あたまのぶぶんがあったのでびっくりしました。さいごにもだちとあそびました。

ピーチがきれいになったら、かせもきもちよさそうでした。



↑ 子供園修了式…先生と仲よしのお友だち(華・左端)

「育児」について 教祖様のみ教え

「金光教教典
よじ」

○利守志野の伝え

子供も、おかげの中に生かされて
生きている。生きていけば、病気に
もなる。その時、かかえあげて拜む
ような信心ではおかげならぬ。か
わいそのだが、ほっといて神の前に
願うような気になって信心してやる
がよい。おかげがいただける。

○河本虎太郎の伝え

家内一統、仲よくして信心せよ。
彼岸もちなどをこしらえる時に、子
供がそばで、くれ、くれと言いつのを、
神様にあげない先にと言って頭をた
たいたりしては、神は喜ばない。先
に子供にやって喜ばしておいて、そ
れから神にあげてくれれば、神は喜
ぶ。よそへ行っても、台所で子供の
頭をたいて泣かせたりしては、こ
ちそつを出してくれても、うれし
くはない。

○古川このの伝え

ある人が子供の数が多く、それぞ
れ性格が違うので困っていると願
いした。金光様はその人に、
「五本の指が、もし、みな同じ長
さでそろっていても、物をつかむこ
とができない。長いや短いのがあ
るので、物がつかめる。それぞれ性
格が違うので、お役に立てるのであ
る」と
と教えられた。

「育児」についての豆知識！

ギャングエイジとは？

「ギャングエイジ」とは、小学校の三
〜四年生頃から見られる児童の発達段
階の一つで、児童が教師や保護者より友
達を大切に始める時期のことです。

これまで親や先生といった大人が絶
対的な存在だった子供が、その依存から
抜け出し、仲間の影響で成長していく時
期なのです。

また、継続的な友人関係を作れるよう

になるのを背景に、教師から集団の形で
自立し、仲間だけで行動するようになり
いわゆる「群れ遊び」をするようになります。

「集団」や「仲間」で遊び、親に対し
て秘密を持ちたがる年齢でもあり、親か
らすれば、少しずつ子ども行動がわか
りにくくなります。

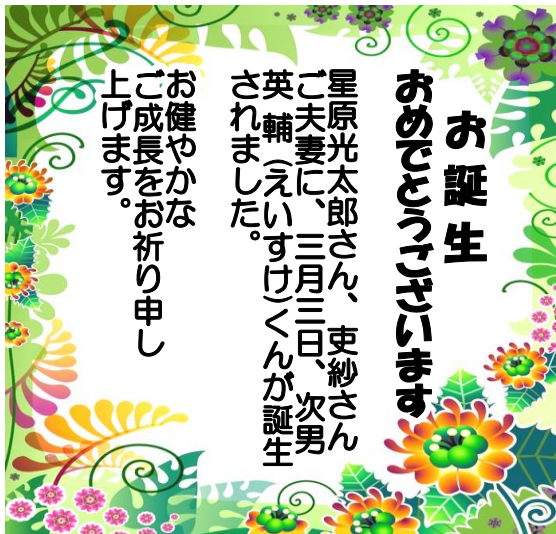
集団行動の中にいたすらや悪さが含
まれることもあり「反抗期に入ったので
は」と心配になることもありますが、子
供の自立へのための一時期の特徴とし
て大きく見守り上手に導いてあげること
が大切です。

このような時期に、教育的効果が上が
る集団的な教育システムとして作り上
げられたのが「ボーイスカウト」であり、
昔の薩摩藩での「郷中教育」です。





スズランスイセン



お誕生
おめでとうございます

星原光太郎さん、吏紗さん
ご夫妻に、三月三日、次男
英輔(えいすけ)くんが誕生
されました。

お健やかな
ご成長をお祈り申し
上げます。

- 31 (火) 清掃御用 10時
- 29 (日) 御本部^{天地位}乃^神御大祭^乃選擇^乃御祈念 10時
- 22 (日) ●月例祭 共励会 13時半
- 20 (祝金) ●春季 靈祭 10時半
- 19 (水) 清掃御用 10時
- 13 (金) 矢野クラ刀自立日^{御祭} 10時
- 10 (火) ●月例祭 10時半
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 3 (火) ●甘木親教会参拜日^{参拜は未定}
- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半

あしあと

加治木教会行事記録

台風15号・19号はじめ、各地で発生した豪雨・各地地震・火災で被災された方々、新型コロナウイルスに罹られた方々の、一日も早い復興、快復、安心、立ち行きをお祈りさせていただきます。

※募金は教会の支援金箱にどうぞ

那覇市、首里城火災の再建義捐金へも協力させていただきます。

鹿兒島地方教会連合会
「社会活動支援金」の
振込先は「ゆうちょ銀行」
<記号>17820
<番号>19085871
<名義>金光教鹿兒島災害対策室 代表 矢野章



ご霊神様のおまじない

四月

平島徹迺正明聡根彦之靈神

(1日)昭和19年

前田重吉之靈神(4日)大正5年

福元 節之靈神(2日)昭和59年

中野 勇之靈神(3日)平成11年

前田シナ之靈神(4日)昭和20年

小坂力ネチヨ之靈神(5日)

前田ソエ之靈神(6日)昭和39年

松田浅右衛門之靈神(8日)昭和28年

安武孝子玉依姫之靈神

(9日)昭和50年

汰美美之助之靈神(11日)昭和24年

瀬尾雅博之靈神(12日)平成3年

小坂ミツエ之靈神(24日)平成25年

市園千賀子之靈神(19日)平成13年

中島武彦之靈神(26日)昭和51年

三反 礫之靈神(29日)昭和48年

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

鹿兒島県は、日をあけず募参りをする習慣があります。どこのお墓もいつも花を絶やさないように気をつけてあり、大変良いことです。ご先祖の霊様方は目に見えないだけで、生死を通してお働き下さつてあることに、お礼を申し上げます。大切にしていきたいです。

四月十一日(土)～十二日(日)

出発：午前九時 ※十二日、途中人吉教会
甘木親教会 御大祭に参拝。

青年の集い

ご教話 甘木親教会
安武道義親先生

新型コロナウイルスの
感染拡大の
予防のため
中止になり
ました

四月二十五日(土) 午前七時半出発
〔祭典十一時より〕

甘木親教会

天地金乃神御大祭参拝

五月三十一日(日)〔祭典午前十一時〕

加治木教会教会 ※前日御用奉仕

天地金乃神御大祭奉仕

祭典後、教話、直会

《御大祭》

四月十二日(日)	人吉教会
四月二十六日(日)	上荒田教会
五月三日(祝)	多良木教会
五月五日(祝)	西鹿児島教会
五月十七日(日)	鹿児島教会
五月二十三日(土)	大田原教会
五月二十四日(日)	新田原教会
五月三十一日(日)	加治木教会

教会行事

4月

- 1 (水) ●報徳月例祭・勸学祭 10時半
 - 3 (金) 甘木親教会参拝日 未定
 - 7 (火) 安武孝子媛四十五年祭 十時半
 - 9 (木) 清掃御用 10時
 - 10 (金) ●生神金光大神様 月例祭 10時半
 - 12 (日) 人吉教会 御大祭 11時
 - 15 (水) 連合会執行部会 十時半
 - 21 (火) 清掃御用 10時
 - 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
 - 25 (土) 甘木親教会 御大祭
 - 26 (日) 上荒田教会 御大祭 11時
 - 30 (火) 清掃御用 10時
- ※少年少女会

5月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (日) 多良木教会 御大祭 11時
- 4 (祝) 甘木親教会バレーボール大会参加
- 5 (祝) 西鹿児島教会 御大祭 12時
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●生神金光大神様 月例祭 10時半
- 17 (日) 鹿児島教会 御大祭 11時
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 大口教会 御大祭 12時
- 24 (日) 新田原教会 55年記念祭 11時
- 30 (土) 御用奉仕
- 31 (日) 加治木教会 御大祭 11時

五月十八日～五月二十九日
御大祭前信行期間
ご祈念・研修く午前五時十五分・午前十時
ご祈念のみく午後四時・午後九時

